

地域活性化伝道師プロフィール		分野		◎		農・林・水産業	
		地域産業・イノベーション・農商工連携				観光・交流	
		地域医療、福祉・介護、教育				環境	
		地域コミュニティ・集落再生				まちづくり	
		地域交通・情報通信					
ふりがな		あかがみ よういち					
氏名		赤上 陽一					
所属	名称	仙北市役所					
	役職	副市長					
連絡	住所	(非公開)	〒 - -				
		(公開)	E-Mail yoakagami[アットマーク]gmail.com				
	連絡先	(非公開)	TEL	-	FAX	-	
		連絡方法					
略歴	<p>1960年生まれ、博士(工学)。民間企業を10年間経験し、1994年秋田県工業技術センターに入庁。主な研究 電界砥粒制御技術を発明し、研磨流体に電界を与えながら研磨することで、研磨流体の飛散を抑制しながら、研磨下に導くことで、高能率・高品位な研磨技術を通してグリーンなものづくりイノベーションを推進している。現在パワー半導体SiCやGaNなどの難削材にも適用検討中。さらに本技術を応用して電界を非接触に微量溶液に与えることで攪拌する技術を発明し、抗原抗体反応やハイブリダイゼーションに係わる処理を10倍加速する技術を明らかにして、メディカルイノベーションにも従事。このような先端基盤技術を通して、地域のものづくり企業を研究開発型企業に変容させるべくものづくりの高度化と生産能力の向上を図る。さらに北東北ナノメディカルクラスター研究会幹事などを通して地域創生事業を展開中。○第8回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞、(2020)○令和元年度東北地方発明表彰 特許庁長官賞、(2019)○平成29年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 (2017)○第8回 岩木トライボコーティングネットワークアワード大賞、(2015)○2014年度日本機械学会東北支部技術研究賞、</p>						
著作・論文等	<p>新しい道を拓く電界砥粒研磨技術 機械技術 156巻 2号 電界砥粒研磨法を応用した微細加工技術開発 日本機械学会誌 109 1051 磁場・電場を用いた研磨の制御 トライボロジスト 51 7</p>						
取組概要	<p>IoT技術の躍進を支える電子デバイス、通信技術のさらなる高度化が要望されている。そのために必要とされる半導体技術やストレージ技術が著しい発展を待望されている。我々はこれらのユーザー技術の基盤となる研磨技術の更なる飛躍を実現するために、いわゆる電界砥粒制御技術を発明し提案している。これからも、このような日本固有の製造技術が極めて有用である。さらにこのような流体の配置制御技術から攪拌技術に展開し、医療技術、分析技術など多方面に展開中である。本技術群を通して、企業のイノベーションとはそしてこれらを基に地域活性化事業への展開を手掛けている。</p>						
メッセージ	<p>天と地を結ぶ人の技がものづくりであると教えられ、幸に導くものづくりの高度化を多くの企業と実践している。当方のモットーは「人と人が出会うことでイノベーションが加速する」まさにオープンイノベーションを実践し、ユーザーの幸の理想追求こそが、本来のものづくりの根源であり、誰のために、何をを目指すのかを考えることによって地域の若者の魅力となり、事業承継という課題解決へ転換させたいと考えている。</p>						
関連ホームページ	-		活動エリア		全国		

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールのお返事は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。